

	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	手仕上げ工作 (サーキット・テスト作り)	矢野 史門	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	1	12.5	前期	必修
授業の概要	サーキット・テスト制作を通して電子工作の技術、サーキット・テストの使用法を学ぶ。						
授業の進め方	各内容説明後、実作業を行う。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 電子工作の技術を習得する。 サーキット・テストの使用法を理解し、正しく使えるようになる。 						
講義内容							
時間	項目	目標					
1	はんだ付けの方法	はんだ付けに関する知識を得る。					
2							
3	サーキット・テスト制作	はんだ付けに関する知識を生かして、サーキット・テストの制作を行う。					
4							
5							
6							
7							
8	サーキット・テストを使つての 各種測定	作成したサーキット・テストを使い各種測定を行って、作動確認と正しい測定方法を学ぶ。					
9							
10							
11	実技試験						
12							
12.5							
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	はんだ付けに関する資料、サーキット・テスト制作キット						
アドバイス	電子工作は焦らず落ち着いて行うことで上手いきます。また、サーキットテストは整備士になる以上、必ず必要となります。使用法をしっかりと習得しましょう。						

	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	手仕上げ工作 (金属加工)	浅井 朋晃	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	1	12	前期	必修
授業の概要	手仕上げ作業						
授業の進め方	金切鋸やタガネなどをしよして、金属棒を加工する。						
到達目標	工具を使用する上での、体勢や力の入れ方、工具の名称を理解する。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1	手持工具の管理	各工具を使用し、自身の手持工具へ出席番号をいれる。 各工具の名称についても理解する。					
2	安全靴の管理	自身の安全靴に出席番号をいれる。 安全靴を使用する意味についても理解する。					
3	工作作業	工作作業にて金属棒を加工し、その中で、工具を使用する上での 注意点や、体勢、力の入れ方などを理解する。					
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12	実技試験						
成績評価方法	定期試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	全国自動車大学校・整備専門学校協会 教科書「自動車整備工具・機器」 関係資料(プリント)						
アドバイス	卒業まで使用する、自身の工具へ学籍番号をいれる作業など、今後の実習へ向けた 大事な実習となります。工具の基本的な使用方法などを身に付けるようにしてください。						